

【相談内容】

No98.橋梁のコンクリート舗装の補修設計・補修工事について

- コンクリート舗装の橋面についてうきが見られたが、主桁との密着性は残っており、舗装打ち換えの費用が膨大であったことから、複合薄層遮水性舗装を採用した。
- 費用削減及び工期の縮小を達成したが、他の工法等あれば助言を頂きたい。

【助言内容】

- 補修計画を立てるには、以下のことを踏まえることが有効だと考える。
 - ・本橋梁に求める性能（耐荷性能、耐久性能など）を道路管理者として整理することが重要
例えば、耐荷性能：現在のまま大型車も通行させる
耐久性能：耐用年数（あと何年持たせる）
 - ・また、上記性能を満足させるのに補修後の耐用年数をメンテナンスフリーで考えるのか、補修ありきで考えるのか等について、整理する事が重要
 - ・設計においては、損傷箇所の補修と合わせて、損傷要因の排除も考慮して進めることが重要
 - ・また、損傷要因の排除（水が原因であれば、止水対策）が不十分なまま、補修を行うと、再劣化を招く可能性が考えられるため、要因の排除も含めて、補修を行う事によって効率的かつ効果的な対策になると思われる。